

志垣民郎 旧蔵

# オンライン版 内調資料

監 修 岸 俊光 (一般社団法人アジア調査会常務理事・事務局長)

原本所蔵 志 垣 家

解 題 岸 俊光、小谷 賢 (日本大学教授)



日本の代表的なインテリジェンス機関である内閣調査室に関する史料群。内調創立時のメンバーであり、後に主幹を務めた志垣民郎（1922-2020）の旧蔵資料で構成される。豊富な一次史料に加え、創立当初の1952年から内調の委託業務を引き受けている国民出版協会会長退任の1990年までの、志垣による克明な日記原本も収録。日本のインテリジェンス史の実証研究を飛躍的に高めるとともに、政治外交史や安全保障、原子力政策、冷戦史、メディア研究などの諸分野で必見の新史料である。

# 初めて明かされる戦後日本の情報機関の全貌

進藤翔大郎

2000年以降、アメリカの情報機関に関する資料公開状況は大きく進展してきた。アメリカ議会にて1998年10月ナチ戦争犯罪公開法、次いで2000年12月に日本帝国政府公開法が制定され、CIA、FBI、CICなどのアメリカの情報機関が収集・分析してきた膨大な量の資料が機密解除されている。

一方で、日本の情報機関に関する日本側資料の公開状況は依然として進展していない。そうした中、内閣調査室関係のまとまった資料群が広く研究者に公開されることは、戦後日本の情報機関に関する研究を新たな段階へと躍進させるだろう。岸俊光『核武装と知識人－内閣調査室でつくられた非核政策』（勁草書房）では、内閣調査室が知識人やメディアを通じた反共・親米の世論づくりに尽力していたことが指摘されている。特に内閣調査室による核政策・安全保障研究の委託、東京大学法学部の学生団体である土曜会への支援、雑誌『全貌』への連載は、インテリジェンス研究に留まらず、メディア史研究や冷戦史研究においても重要な事例である。

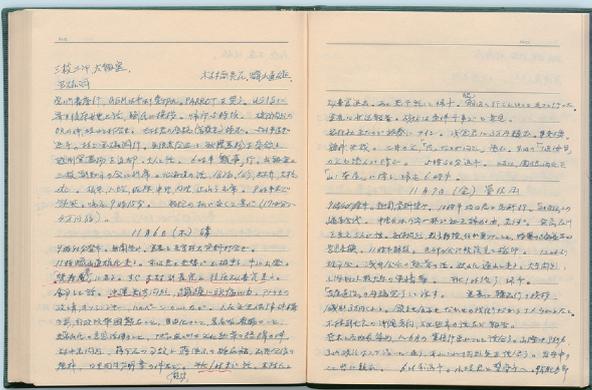
とりわけ近年の冷戦史研究では、軍事・安全保障だけでなくイデオロギー・価値観・学知を巡る米ソの覇権争いの検証が新たな資料公開とともに急激に進められてい

る。情報機関との関係でいえば、CIAが資金提供を行っていた文化自由会議（CCF）やアジア財団が日本においても知識人との協力関係を構築し、CCFは雑誌刊行の支援、アジア財団は研究助成・学生団体支援などを行っていたことが明らかとなっている。こうした文脈から日本の情報機関が独自にどのように知識人や学生、メディアに影響力を行使していたかを検証する上でも、本資料は基礎資料となる。

さらに、学生運動や社会運動に関心のある研究者にとっても本資料群は有用であろう。内閣調査室による委託研究は、核政策・安全保障政策に留まらず、学生運動や共産党対応など幅広い分野に及んでいたことが本資料群の目録からは見て取れる。大学運営臨時措置法や東大紛争で国会が揺れ動いていた1960年代末に、内閣調査室による学生運動に関する委託研究が佐藤首相の東大紛争への認識や対応にどのような影響を与えたかについても気になるところではある。

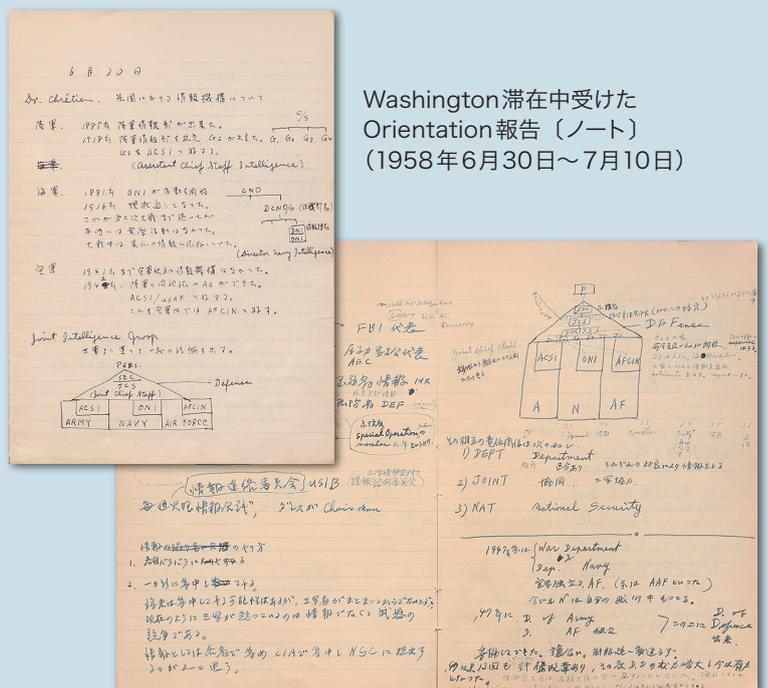
日本の原子力政策・安全保障、学生運動、メディア史、冷戦史など様々な分野の研究者が本資料を広く活用することで、新たな学際的研究成果が生まれることを期待したい。

## 志垣日記



1969年日記 11月6日の条（木村副長官、蜷山道雄・・・）

## CIA 研修記録



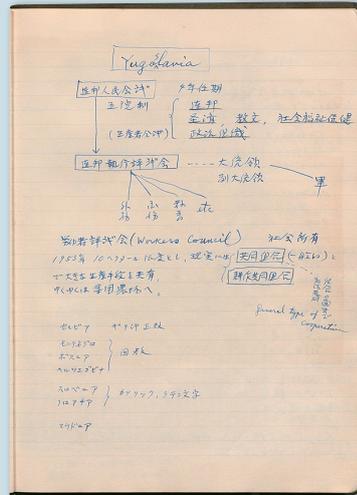
(CIA出張ノート)

# 戦後日本の情報機関の活動をたどる、多岐にわたる資料群

## 海外出張記録

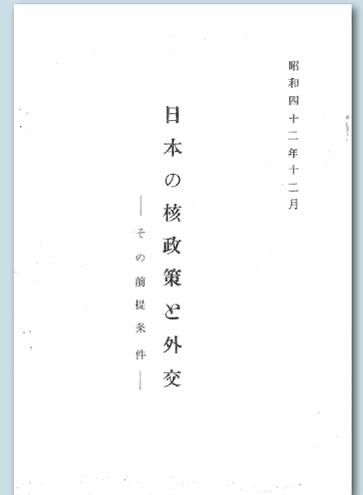
日	年	前	氏名	場所	内容	備考
7月20日	1959	Paul Clinton	White House	Mr. Vance	Mr. Bldg.	Central Office of the CIA
7月21日	1959	Paul Clinton	White House	Mr. Maguire	Mr. Maguire	Super Market & Arlington
7月22日	1959	Paul Clinton	White House	Mr. Maguire	Mr. Maguire	Shopping
7月23日	1959	Paul Clinton	White House	Mr. Maguire	Mr. Maguire	Reporting of the day
7月24日	1959	Paul Clinton	White House	Mr. Maguire	Mr. Maguire	Reporting of the day
7月25日	1959	Paul Clinton	White House	Mr. Maguire	Mr. Maguire	Smithsonian Institution
7月26日	1959	Paul Clinton	White House	Mr. Maguire	Mr. Maguire	Williamsburg - 本館
7月27日	1959	Paul Clinton	White House	Mr. Maguire	Mr. Maguire	Williamsburg - 本館
7月28日	1959	Paul Clinton	White House	Mr. Maguire	Mr. Maguire	Williamsburg - 本館
7月29日	1959	Paul Clinton	White House	Mr. Maguire	Mr. Maguire	Williamsburg - 本館
7月30日	1959	Paul Clinton	White House	Mr. Maguire	Mr. Maguire	Williamsburg - 本館
7月31日	1959	Paul Clinton	White House	Mr. Maguire	Mr. Maguire	Williamsburg - 本館

米国出張日程記録 (1959年8月25日～10月13日)



中近東派遣旅行日誌 (1963年6月8日～10月12日)

## 核政策研究



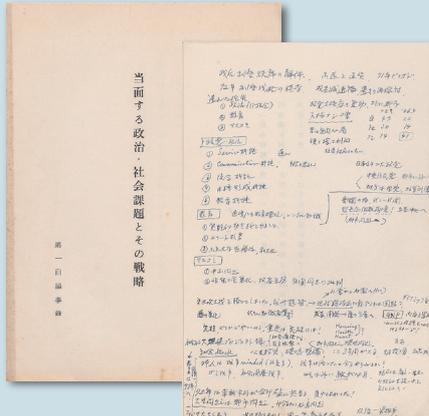
「日本の核政策と外交 その前提条件」(1967年12月)

## 安保問題



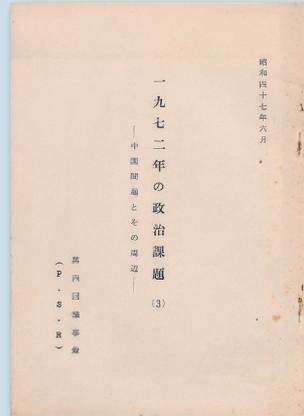
「部外秘 安保改定問題の総括 (未定稿)」(内閣官房内閣調査室編)

## 研究会資料



「当面する政治・社会課題とその戦略 第一回議事録」(PSR、1971年12月)

## 内部資料

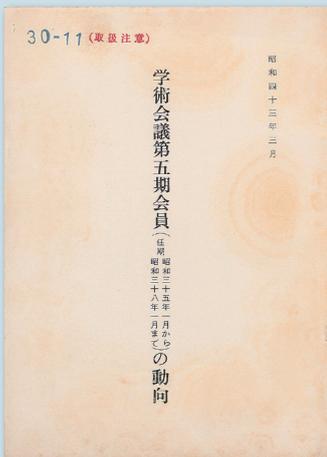


「1972年の政治課題 (3) 中国問題とその周辺 第四回議事録」(PSR、1972年6月)

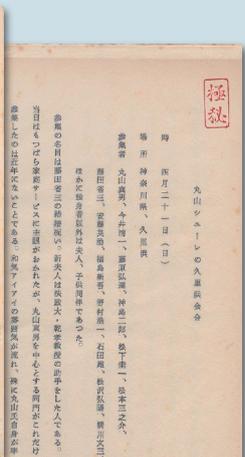


「取扱注意 政府のブレイン機構について」(1969年10月20日)

## 知識人対策



「取扱注意 学術会議第五期会員の動向」(1968年3月)



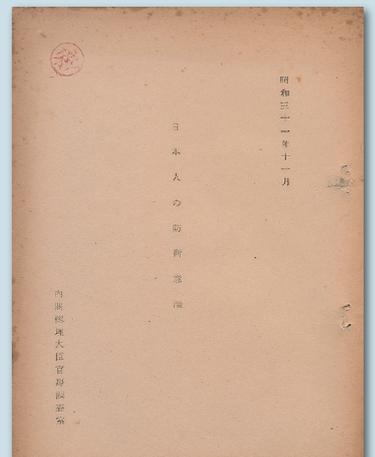
「極秘 丸山シュレの久里浜会合」

## プロパガンダ



「秘 ソ連の対日宣伝活動の実態」

## 社会・政治意識調査



「秘 日本人の防衛意識」(内閣総理大臣官房調査室、1956年11月)

志垣民郎旧蔵

## オンライン版 内調資料

監修 岸俊光 (一般社団法人アジア調査会常務理事・事務局長)

原本所蔵 志垣家

解題 岸俊光、小谷賢 (日本大学教授)

価格 ¥400,000 (税別)

プラットフォーム：J-DAC ジャパン デジタル アーカイブズ センター

完全買切型 (ご購入後のプラットフォーム利用料、年間維持費用は不要です)

&lt;1ヶ月の無料トライアル受付中、お申し込みは kenkyushien@maruzen.co.jp まで&gt; (お申し込みは学術機関に限ります)

1952年に総理府に内閣総理大臣官房調査室として設置され、1957年に内閣官房の内閣調査室となった内調(現在の内閣情報調査室)。日本の代表的なインテリジェンス機関として存在は広く知られているものの、その秘匿性の高さから公文書の公開などはほとんどなされず、また組織としての通史が編まれることもなく、実態を把握することが困難であった。

本資料は、1952年の創立時のメンバーであり、後に内閣調査室主幹を務めた志垣民郎(1922-2020)の旧蔵資料である。豊富な一次史料に加え、創立当初の1952

年から内調の委託業務を引き受けている国民出版協会会長退任の1990年までの、志垣による克明な日記原本を収録する。

内調による核政策研究の報告書類、政策科学研究会(Policy Science Research: PSR)をはじめとした研究会資料、CIA(アメリカ中央情報局)研修の記録など、多様な資料で構成される。

日本のインテリジェンス史の実証研究を飛躍的に高めるとともに、政治外交史や冷戦史研究、安全保障研究などの諸分野に大いに資する資料といえる。

## 近現代史料データベース

近現代史料データベースは横断検索が可能です

## オンライン版 防衛政策史資料

原本所蔵：国立公文書館 解題：真田尚剛(立教大学)

第一部 「久保文書」、「伊藤文書」、回想録・証言録

価格 ¥400,000(税別)

第二部 参事官会議議事要録、庁議議事要録、高級幹部会同

価格 ¥400,000(税別)

## オンライン版 戦後社会保障制度関係資料

原本所蔵：東京大学経済学図書館 解題：佐口和郎(東京女子大学特任教授・東京大学名誉教授)

第一部 大河内一男資料 1

価格 ¥400,000(税別)

第二部 大河内一男資料 2

価格 ¥400,000(税別)

オンライン版 楠田實資料(佐藤栄作官邸文書)

全二部 価格 ¥800,000(税別)

オンライン版 楠田實資料 第二期

全二部 価格 ¥900,000(税別)

オンライン版 大平正芳関係文書

価格 ¥400,000(税別)

オンライン版 三木武夫関係資料

全四部 価格 ¥2,400,000(税別)

オンライン版 宮澤喜一関係文書

全五部 価格 ¥2,200,000(税別)

MARUZEN-YUSHODO 丸善雄松堂株式会社 学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部

〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル TEL. 03-6367-6025 FAX. 03-6367-6188 e-mail kenkyushien@maruzen.co.jp